2023年度 認知科学（認知科学と人工知能）の成績結果について

担当：小堀　聡

＜成績の概要＞

旧カリ「認知科学と人工知能」の前半の「認知科学」部分と新カリ「認知科学」とでは、合併開講として、同じ内容を講義し、また、同じ問題でテストをしましたので、まず、両方を合わせた結果を説明することにします。

両科目の受講登録者は合計して 102 名でしたが、テストを欠席したのは 8 名でした。この 102 名の成績分布は以下のとおりであり、テストを受験した人の合格率は 73.4%でした。

S(90-100)	7
A(80-89)	16
B(70-79)	25
C(60-69)	21
D(1-59)	25
K(0)	8
合計	102

最高点:96 点(1 名)
最低点:2 点(1 名)
平均点:67 点

旧カリ「認知科学と人工知能」の受講登録者は 8 名で、テストの欠席者は 4 名でした。この 8 名の成績分布は以下のとおりであり、テストを受験した人での「認知科学」部分の合格率は 75.0%でした。ただし、旧カリ「認知科学と人工知能」の成績は、「認知科学」部分と「人工知能」部分の点数を平均して評価しますので、現時点では「認知科学と人工知能」としてはまだ「合格」ではありません。

S(90-100)	1
A(80-89)	1
B(70-79)	1
C(60-69)	0
D(1-59)	1
K(0)	4
	8

最高点:94 点(1 名)
最低点:18 点(1 名)
平均点:67 点

新カリ「認知科学」の受講登録者は 94 名で、テストの欠席者は 4 名でした。この 94 名の成績分布は以下のとおりであり、テストを受験した人での合格率は 73.3%でした。

S(90-100)	6
A(80-89)	15
B(70-79)	24
C(60-69)	21
D(1-59)	24
K(0)	4
	94

最高点:96 点(1 名)
最低点:2 点(1 名)
平均点:67 点

全体的に合格率も高く、成績は良好ですが、S（90 点台）の人が少なかったのは残念です。旧カリ「認知科学と人工知能」の前半の「認知科学」部分と新カリ「認知科学」の成績を比べてみると、両者の平均点も合格率もほぼ同じであることが分かります。

＜講評＞

テスト問題については、すでに本授業サイトで公開しているので、そちらで確認してください。

まず、採点における基本方針は、テストの冒頭部分にも書いているとおり、漢字で書くべきところを仮名で書いたり、誤字があったりした場合は０点です（１番と２番の場合)。3 番については、いくつかの項目に分けて採点しているので、その項目の部分点を０点としました。

また、過去問の演習において、字が汚くて読めないものは取り扱わなかったのと同様、字が汚くて判読不可能と判断したものについても０点としました。残念ながら、そうした答案がいくか散見されました。これは言うまでもないことですが、レポートや答案は丁寧に書くべきものです。大学生にもなってそんなことを言われるのは恥だと思うべきです。

各問についてのコメントです。

問１と問２の用語の問題は、過去問と同様の問題ということもあってか、概ねよくできていましたが（問 1：平均 27 点／35 点、問 2：平均 31 点／35 点)、一部、用語を正しく理解していないと思われる解答もありました。

問３は大変出来が悪かったです（平均 9 点／30 点)。それぞれの用語の持つ基本的な概念を正しい日本語で的確に説明することは難しかったかもしれませんが、それができてこそ、本当の意味で認知科学の分野の内容を理解したことになると言えるでしょう。

たとえば、刺激と反応という用語については、感覚という用語も含めてそれらの概念を十分に理解し、その意味を説明する必要がありますが、それがあまりできていませんでした。また、用語を説明する問題であり、用語を使って適当な作文をするのではありません。そういう解答が数多く見られました。

たとえば、「順応」については「刺激に慣れる」だけでは十分ではありません。「反応が弱くなる」というのも正確ではありません(反応が弱くなるかどうかは、別の問題です)。ましてや「刺激が弱くなる」なんてことは絶対にないわけで、刺激という言葉の意味を理解していないということだと思いました。十分な解答はほとんどありませんでした。

「メンタルモデル」についても、何のモデルなのか、どういう表現を取っているのか、そのモデルを使ってどういうことが説明できるのかなど、説明として過不足なく書く必要がありますが、不十分な解答が多かったです。

「CSCW」については、人間の協調活動の支援をどのように行うのか、ということについての説明が不十分な解答が多かったです。また、研究分野として二面性があることにも触れているものはほとんどありませんでした。

以上